

(様式第9)

海大病第 733 号
平成20年10月1日

厚生労働大臣

殿

北海道大学病院長 浅香正

北海道大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数 117.4人

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	244人	232人	429.6人	看護業務補助	50人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	104人	41人	136.8人	理学療法士	10人	臨床検査技師	68人
薬剤師	37人	2人	38.5人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	4人	検査その他	0人
助産師	33人	0人	33.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	746人	29人	767.7人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	0人	その他の技術員	1人
歯科衛生士	13人	0人	13.0人	歯科技工士	6人	事務職員	153人
管理栄養士	7人	0人	7.0人	診療放射線技師	48人	その他の職員	29人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	786.99人	23.21人	810.20人
1日当たり平均外来患者数	2,270.39人	671.14人	2,941.53人
1日当たり平均調剤数		1,101.66剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31磷-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	有・無	人
肺腫瘍に対する腹腔鏡補助下肺切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	(有)・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・韌帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宫体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	13人
カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチエット病	216人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	82人
・多発性硬化症	90人	・ウェグナー肉芽腫症	14人
・重症筋無力症	66人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	59人
・全身性エリテマトーデス	378人	・多系統萎縮症	43人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	9人
・再生不良性貧血	160人	・膿胷性乾癥	6人
・サルコイドーシス	199人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・原発性胆汁性肝硬変	69人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	176人	・重症急性胰炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	118人	・特発性大腿骨頭壊死症	84人
・結節性動脈周囲炎	37人	・混合性結合組織病	27人
・潰瘍性大腸炎	83人	・原発性免疫不全症候群	35人
・大動脈炎症候群	39人	・特発性間質性肺炎	10人
・ピュルガー病	19人	・網膜色素変性症	24人
・天疱瘡	54人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	131人	・原発性肺高血圧症	11人
・クローン病	54人	・神経線維腫症	40人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	15人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・ペーキンソン病関連疾患	241人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	8人
・アミロイドーシス	11人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3人
・後縦靭帯骨化症	94人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	41 (C P C : 臨床病理検討会)	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 45 例	剖検率 11.5 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性気道疾患への新たな挑戦－病態、診断、治療へのアプローチ	西村 正治	第1内科	11,300千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
マトリックスメタリプロテアーゼ誘導因子制御による難治性肺疾患への介入	別役 智子	第1内科	2,400千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
タイプI免疫活性化を介した肺がん治療に対する放射線治療の併用増強効果	山崎 浩一	第1内科	1,600千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
慢性閉塞性肺疾患（COPD）の発生機序、診断	西村 正治	第1内科	1,800千円	① 科学研究費（厚生労働省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
気管支ぜんそくの有病率・罹患率及びQOLに関する全年齢階級別全国調査に関する研究	西村 正治	第1内科	4,000千円	① 科学研究費（厚生労働省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
気管支ぜんそく、アレルギー反応におけるオステオポンチンの意義	今野 哲	第1内科	1,300千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
肺の生体防御機構における加齢と喫煙の影響	長井 桂	第1内科	1,100千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
疾患早期診断のための糖鎖自動分析装置の開発	西村 正治	第1内科	3,000千円	① 科学研究費（ ） ② 受託研究（ ） 3 その他（ ）
喫煙関連呼吸器疾患の分子マーカーと予防戦略－喫煙者における気道上皮細胞の遺伝子発現と疾患感受性	西村 正治	第1内科	2,000千円	① 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他

Tiotropium粉末吸入剤のCOPDを対象とした大規模臨床試験－二重盲検群間比較試験による肺機能低下速度の検討	西村 正治	第1内科	555千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 3 その他 ()
糖鎖シグナルの異常による肺気腫の発生機構の解明と治療戦略	別役 智子	第1内科	2,500千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 () 3 その他 ()
Ambrisentan:GSK1325760Aの肺動脈高血圧(PAH)に対する臨床評価	辻野 一三	第1内科	661千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 3 その他 ()
急性PE患者に対し、初期治療としてGSK576428を投与したときの有効性	辻野 一三	第1内科	588千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 3 その他 ()
タルセバR錠特定使用成績調査	本村 文宏	第1内科	945千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 3 その他 ()
免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的新規治療法に関する研究	小池隆夫	第二内科	79,700 千円	① 科学研究費 (厚労省) 2 受託研究 () 3 その他 ()
脂肪細胞内におけるペリリピシンの脂肪分解制御機構と肥満・代謝疾患	三好 秀明	第二内科	4,680千円	① 科学研究費 () 2 受託研究 () 3 その他 ()
脂肪細胞における脂肪貯留と分解の分子学的機序解明と、脂肪滴周囲蛋白ペリリピシンの役割	三好 秀明	第二内科	2,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (武田科学振興財団)
脂肪細胞における脂肪貯留と分解の分子学的機序解明と、脂肪滴周囲蛋白ペリリピシンの役割	三好 秀明	第二内科	1,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (かなえ医薬振興財団)
ダブルマイクロアレイによる肝癌発症、進展に関わる新規遺伝子の網羅的解析	中馬 誠	第三内科	2990千円	① 科学研究費 () 2 受託研究 () 3 その他 ()
心血管病におけるミトコンドリア転写因子の役割の解明と新規治療の開発	筒井 裕之	循環器内科	5,200千円	① 科学研究費 (基盤研究(B)(2)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
リン酸化シグナルA k tによる心筋Naチャネルの機能修飾と不整脈に関する研究	蒔田 直昌	循環器内科	1,950千円	① 科学研究費 (基盤研究(C)) 2 受託研究 () 3 その他 ()

酸化ストレス制御による心不全における運動能力改善を目指した新規治療法の開発	絹川 真太郎	循環器内科	1,300千円	① 科学研究費（若手研究（B）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
転写因子Arid5dの心血管・免疫系細胞における役割の解明と動脈硬化治療への応用	石森 直樹	循環器内科	1,380千円	① 科学研究費（若手研究スタートアップ） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
全国患者登録データを用いたわが国の慢性心不全患者の急性増悪・難治化要因の解明と効果的治療法の確立	筒井 裕之	循環器内科	40,000千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他（厚生労働省科学研究費）
特発性心筋症に関する調査研究	筒井 裕之	循環器内科	1,400千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他（厚生労働省科学研究費）
慢性心不全におけるメタボリック症候群の意義に関する研究	筒井 裕之	循環器内科	1,000千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他（厚生労働省科学研究費）
ヒスタミンと心不全の関連についての検討-H2レセプターブロッカーは心不全を改善するか	筒井 裕之	循環器内科	800千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他（厚生労働省科学研究費）
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	蒔田 直昌	循環器内科	2,500千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他（厚生労働省科学研究費）
心不全に対しβ遮断薬療法を安全かつ有効に導入するための統合的ゲノム薬理学研究	岡本 洋	循環器内科	3,500千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他（厚生労働省科学研究費）
心筋内血液量の定量による心不全治療の効果予測に関する研究	山田 聰	循環器内科	2,000千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他（日本超音波医学会研究開発班）
糖尿病に伴う骨格筋機能・運動能障害における酸化ストレスの役割	絹川 真太郎	循環器内科	400千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他（ノーベック財団研究開発助成事業）
各種退行性変性におけるミトコンドリア転写因子を対象とした治療方法の開発	筒井 裕之	循環器内科	500千円	1 科学研究費（ ） ② 受託研究（ ） 3 その他（ ）
セキュア回線を用いたホルター心電図ネットワークシステムの構築	蒔田 直昌	循環器内科	1,260千円	1 科学研究費（ ） ② 受託研究（ ） 3 その他（ ）

MOMIJI試験	筒井 裕之	循環器内科	1,425千円	① 科学研究費 () ② 受託研究 () 3 その他 ()
本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 - 心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として - (略称 : MAGIC研究)	筒井 裕之	循環器内科	3,200千円	① 科学研究費 () ② 受託研究 () 3 その他 ()
突発性造血障害に関する研究	今村 雅寛	血液内科	1,000千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 () 3 その他 ()
成人難治性造血器腫瘍に対する非血縁者間の同種造血幹細胞移植法の確立に関する研究	今村 雅寛	血液内科	1,000千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 () 3 その他 ()
成人T細胞白血病 (ATL) に対する同種幹細胞移植療法の開発とそのHIV - I 排除機構に解明に関する研究	今村 雅寛	血液内科	500千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 () 3 その他 ()
NK受容体発現細胞障害性CO8と免疫制御性C4細胞の増幅とその臨床応用	七戸 俊明	第二外科	7,600千円	① 科学研究費 (文部科学省) 2 受託研究 () 3 その他 ()
転写因子NF - KB制御による安全な肝臓移植法の開発	藤堂 省	第一外科	10,500千円	① 科学研究費 (基盤研究A) 2 受託研究 () 3 その他 ()
消化器外科領域における分子標的治療に向けた包括的基盤研究	尾崎 優孝	第一外科	4,500千円	① 科学研究費 (基盤研究B) 2 受託研究 () 3 その他 ()
新規分子機能プローブ開発による生体・臓器内分子機能診断への応用	尾崎 優孝	第一外科	4,500千円	① 科学研究費 (萌芽研究) 2 受託研究 () 3 その他 ()
高解像度アレイCGHによる胃癌のゲノム異常獲得形式と病理組織学的因子との統合解析	富岡 伸元	第一外科	1,400千円	① 科学研究費 (基盤研究C) 2 受託研究 () 3 その他 ()
CHIP-Chip法/Oligofish法によるヒトがん組織の網羅的転写機能解析	中西 一彰	第一外科	2,200千円	① 科学研究費 (基盤研究C) 2 受託研究 () 3 その他 ()
新規直接検出法による乳癌末梢血遊離癌細胞同定と遊離細胞の生物学的分析に関する研究	高橋 將人	第一外科	1,800千円	① 科学研究費 (基盤研究C) 2 受託研究 () 3 その他 ()

新規NF-KB活性阻害剤(DHMEQ)の小腸虚血再灌流障害に対する治療効果	鈴木 友己	第一外科	1,600千円	① 科学研究費(基盤研究C) 2 受託研究() 3 その他()
新規NF-KB阻害薬DHMEQの敗血症治療効果の検討	佐藤 直樹	第一外科	1,600千円	① 科学研究費(萌芽研究) 2 受託研究() 3 その他()
水素の動きを制御することにより阻血再灌流障害のシグナルを制御する試み	深井 原	第一外科	1,300千円	① 科学研究費(萌芽研究) 2 受託研究() 3 その他()
新規NF-κB選択的阻害剤DHMEQによる急性膵炎の重症化および多臓器不全の抑制	細田 充主	第一外科	1,800千円	① 科学研究費(若手研究) 2 受託研究() 3 その他()
進行再発大腸癌に対する免疫療法と化学療法の併用療法の効果予測に関する研究	前田 好章	第一外科	700千円	① 科学研究費(若手研究) 2 受託研究() 3 その他()
新規低分子NF-kB阻害剤(DHMEQ)による新たな免疫制御・免疫寛容導入法の研究	藤堂 省	第一外科	66,818千円	① 科学研究費() ② 受託研究 独立行政法人 医薬基盤研究所 3 その他()
微粒子集積体の再生医療応用	藤堂 省	第一外科	2,000千円	① 科学研究費() ② 受託研究 独立行政法人科学技術振興機構戦略的創造事業本部 3 その他()
疾患早期診断のための糖鎖自動分析装置開発	藤堂 省	第一外科	5,000千円	① 科学研究費() ② 受託研究 独立行政法人科学技術振興機構戦略的創造事業本部 3 その他()
独立行政法人新エネルギー・産業技術開発総合開発機構委託事業「個別化医療の実現のための技術融合バイオ診断技術開発/染色体解析技術開発」に係る、がん組織バンクの構築とCGH解析	藤堂 省	第一外科	2,800千円	① 科学研究費() ② 受託研究 (NEDO(横河電機)) 3 その他()
膵臓組織において発現する遺伝子プロファイルに関する解析	藤堂 省	第一外科	5,000千円	① 科学研究費() 2 受託研究() ③ その他(共同研究ヒュービットジェノミクス)
ヒトモノクローナル抗CD40抗体によるサル腎・肝移植における免疫制御・免疫寛容誘導法の研究	藤堂 省	第一外科	4,545千円	① 科学研究費() 2 受託研究() 3 その他(共同研究キリンビール)
ヒトモノクローナル抗CD抗体によるサル肝移植における免疫制御・免疫寛容導入法の研究	藤堂 省	第一外科	21,300千円	① 科学研究費() 2 受託研究() ③ その他(共同研究アステラス製薬)

虚血傷害の新しい治療概念の創出と実用化～多臓器での効果比較	深井 原	第一外科	1,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (ノーステック財団)
低酸素下でのコフィリンとLIMキナーゼの細胞内移動の役割の解明	深井 原	第一外科	350千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 公益信託 榆刀会外科医学研究助成基金
NY-ESO-1/CpGによる新規癌ワクチンの第二相臨床試験	近藤 哲	第二外科	4,900千円	① 科学研究費 (基盤研究 (B)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
PEDFの血管新生阻害機序の解明と遺伝子治療の臨床応用	平野 聰	第二外科	1,100千円	① 科学研究費 (基盤研究 (C)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
末梢血中血管内皮前駆細胞の腫瘍マーカーとしての意義	加賀 基知三	第二外科	1,100千円	① 科学研究費 (基盤研究 (C)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
遺伝子操作で作成した血管新生抑制因子産生細胞の移植による抗血管新生療法の開発	七戸 俊明	第二外科	7,600千円	① 科学研究費 (基盤研究 (B)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
肺がん診療の新たな標的分子の探索と遺伝子治療法の開発	宮本 正樹	第二外科	2,000千円	① 科学研究費 (がん助成金) 2 受託研究 () 3 その他 ()
厚生労働省科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「関節リウマチ上肢人工関節開発に関する研究」	三浪 明男	整形外科	10,000千円	① 科学研究費 (厚生労働省) 2 受託研究 () 3 その他 ()
日本学術振興会 科学研究費補助金 萌芽研究「神経組織再生のための新規多機能生体内吸収性基材の開発」	三浪 明男	整形外科	1,900千円	① 科学研究費 (日本学術振興会) 2 受託研究 () 3 その他 ()
疾患早期診断のための糖鎖自動分析装置開発	三浪 明男	整形外科	3,000千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 (JST) 3 その他 ()
臨床応用に向けた人工細胞外マトリックスを用いた関節組織再建	三浪 明男	整形外科	3,986千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 (TR) 3 その他 ()
平成19年度長寿医療研究委託事業「高齢者の脊椎骨折の再建治療法の標準化に関する研究」分担研究課題名『手術療法の標準化』	伊東 学	整形外科	1,250千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 (国立長寿医療センター) 3 その他 ()

平成19年度科学研究費補助金(基盤研究(B))「前方・後方置換に対応する頸椎・腰椎複合材料型人工椎間板の臨床応用」	小谷 善久	整形外科	(直接経費) 800千円 (間接経費) 240千円	① 科学研究費(独立行政法人日本学術振興会)
				2 受託研究
				3 その他()
平成19年度科学研究費補助金(若手研究(B))「アポトーシス関連遺伝子を用いた椎間板組織の細胞周期・老化変性の制御機構の解明」	須藤 英毅	整形外科	(直接経費) 1,200千円	① 科学研究費(文部科学省)
				2 受託研究
				3 その他()
変形性膝関節症発症初期にかかる遺伝子の解明と治療への応用	眞島 任史	整形外科	2,200千円	① 科学研究費(基盤研究C)
				2 受託研究()
				3 その他()
関節リウマチ上肢人工関節開発に関する研究	岩崎 倫政	整形外科	3,000千円	① 科学研究費(厚生労働科学研究費補助金)
				2 受託研究()
				3 その他()
生体内活性をプログラムされた人工関節材料の開発	益子 竜弥	整形外科	1,200千円	① 科学研究費(若手研究B)
				2 受託研究()
				3 その他()
骨髄由来細胞の誘導による尿路組織再生方法の確立に関する研究	守屋 仁彦	泌尿器科	2,500千円	① 科学研究費()
				2 受託研究()
				3 その他()
中脳水道中心灰白質におけるマイクロダイアリシス用いた排尿関連神経伝達物質の解析	田中 博	泌尿器科	3,000千円	① 科学研究費()
				2 受託研究()
				3 その他()
中枢神経障害における神経再生と下部尿路機能の関係の検討	三井 貴彦	泌尿器科	290千円	① 科学研究費()
				2 受託研究()
				3 その他()
腎虚血再灌流後における好中球の機能についての基礎的、臨床的研究	下田 直彦	泌尿器科	900千円	① 科学研究費()
				2 受託研究()
				3 その他()
中枢神経障害における神経再生と下部尿路機能の関係の検討	三井 貴彦	泌尿器科	500千円	1 科学研究費()
				2 受託研究()
				③ その他(秋山記念生命科学振興財団)
高機能高分子ゲルを用いた関節軟骨自然再生誘導法の開発	安田 和則	スポーツ医学診療科	1,000千円	1 科学研究費()
				2 受託研究()
				③ その他(ノーステック財団)
磨耗粉により生じるオステオライシスにおけるMIFの関与とDNAワクチンによる制御	小野寺 伸	スポーツ医学診療科	2,200千円	① 科学研究費(基盤C)
				2 受託研究()
				3 その他()

除負荷による膝蓋腱マトリクス再構築現象を制御する分子動態の解明	北村 信人	スポーツ医学診療科	2,000千円	① 科学研究費（基盤C） ② 受託研究（） ③ その他（）
基盤研究（B）『PARsとVEGFが関与する敗血症性臓器不全発症機序解明とその制御法の確立』	丸藤 哲	先進急性期医療センター	7,000千円	① 科学研究費（日本学術振興会） ② 受託研究（） ③ その他（）
基盤研究（C）『敗血症性脳症の病態解明』	澤村 淳	先進急性期医療センター	2,000千円	① 科学研究費（日本学術振興会） ② 受託研究（） ③ その他（）
運動失調症に関する調査研究	佐々木秀直	神経内科	1,700千円	1 科学研究費（） 2 受託研究（） ③ その他（厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業）
神経変性疾患に関する調査研究	佐々木秀直	神経内科	1,000千円	1 科学研究費（） 2 受託研究（） ③ その他（厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業）
治験の実施に関する研究 [酢酸リュープロレリン]	佐々木秀直	神経内科	3,500千円	1 科学研究費（） 2 受託研究（） ③ その他（厚生労働科学研究費補助金 治験推進研究事業）
正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究	佐々木秀直	神経内科	600千円	1 科学研究費（） 2 受託研究（） ③ その他（厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業）
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	佐々木秀直	神経内科	700千円	1 科学研究費（） 2 受託研究（） ③ その他（厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業）
スモンに関する調査研究	矢部一郎	神経内科	700千円	1 科学研究費（） 2 受託研究（） ③ その他（厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業）
遺伝性脊髄小脳変性症における病態機序の解明と新規生化学的指標の同定	矢部一郎	神経内科	2,400千円	① 科学研究費（基盤研究（C）） ② 受託研究（） ③ その他（）
多発性硬化症の疾患関連遺伝子同定へのアプローチ	菊地誠志	神経内科	1,300千円	① 科学研究費（基盤研究（C）） ② 受託研究（） ③ その他（）
脊髄スライス培養法を用いた運動ニューロン死の検討とALS新規治療法の開発	辻 幸子	神経内科	1,300千円	① 科学研究費（若手研究（B）） ② 受託研究（） ③ その他（）

多発性硬化症の病態における神経栄養因子の関与の解明	新野正明	神経内科	1,330千円	① 科学研究費 (若手研究(スタートアップ)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
プロテオーム解析による頭頸部癌診断・治療の新しい展開 (代表)	福田 諭	耳鼻咽喉科	9,100千円	① 科学研究費 (基盤研究(B)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
急性高度難聴に関する調査研究 (分担)	福田 諭	耳鼻咽喉科	1,100千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働省科学研究費)
頭頸部進行癌に対する漢方治療の有用性の評価 (分担)	福田 諭	耳鼻咽喉科	900千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働省科学研究費)
突発性難聴およびベル麻痺における新規病因の探索 (代表)	古田 康	耳鼻咽喉科	2,600千円	① 科学研究費 (基盤研究(C)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
ヒストン脱アセチル化酵素活性化剤を用いたアレルギー性鼻炎根治のための基礎的研究 (代表)	中丸 裕爾	耳鼻咽喉科	2,000千円	① 科学研究費 (基盤研究(C)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
頭頸部癌に対する超選択性動注療法の新しい展開 (代表)	本間 明宏	耳鼻咽喉科	600千円	① 科学研究費 (基盤研究(C)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
鼻副鼻腔癌に対する化学放射線治療中の口腔ケアが及ぼす上顎骨壞死予防効果に関する研究 (分担)	本間 明宏	耳鼻咽喉科	1,500千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働省がん研究助成金)
咽喉頭酸逆流症 (LPR) に伴う消化器症状(食欲不振・消化不良)に対する六君子湯の効果の検討 (代表)	折館 伸彦	耳鼻咽喉科	0千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 (ツムラ) 3 その他 ()
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討 一多施設無作為比較臨床試験一 (代表)	本間 明宏	耳鼻咽喉科	0千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 (先端医療振興財団) 3 その他 ()
フィニバックス点滴用0.25g使用成績調査 (代表)	本間 明宏	耳鼻咽喉科	93千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (治験 塩野義)
骨固定型補聴器CB0601の伝音障害患者及び片側聾患者に対する有効性と安全性の臨床試験 (代表)	福田 諭	耳鼻咽喉科	0千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (治験 コクレア)

ゲノム及びプロテオーム解析による頭頸部扁平上皮癌における分子標的治療ターゲットの同定	畠山 博充	耳鼻咽喉科	1,500千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (安田記念医学財団海外研究助成)
S C A 6 患者における視線運動	武市 紀人	耳鼻咽喉科	200千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (伊藤財団海外留学研究助成)
中枢神経障害による平衡機能障害の臨床学的機能評価法の検討	武市 紀人	耳鼻咽喉科	500千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (高桑榮松奨学基金奨励賞)
生活習慣病合併扁平上皮癌症例に対応するゲノム・プロテオーム解析技術を用いた分子標的治療ターゲット分子の同定	畠山 博充	耳鼻咽喉科	1,500千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (住友生命社会福祉事業団海外医学研究助成金)
母体由来自己抗体を用いた水疱性類天疱瘡の新規モデル	清水 宏(代表)	皮膚科	3,300千円	① 科学研究費 (萌芽研究) 2 受託研究 () 3 その他 ()
17型コラーゲンectodomain sheddingの生理的機能の解明	清水 宏(代表)	皮膚科	3,400千円	① 科学研究費 (特定領域研究) 2 受託研究 () 3 その他 ()
皮膚癌の浸潤、転移能における表皮接着分子の直接的関与についての解析	清水 宏(代表)	皮膚科	6,900千円	① 科学研究費 (特定領域研究) 2 受託研究 () 3 その他 ()
水疱性類天疱瘡モデルマウス作成による病態メカニズムの解明と新規治療法の開発	清水 宏(代表)	皮膚科	9,300千円	① 科学研究費 (基盤研究 (A)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
自己免疫疾患に対する新しい生物製剤の開発	清水 宏(代表)	皮膚科	90,000千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 (保健医療分野における基礎研究推進事業研究プロジェクト) 3 その他 ()
骨髓移植による構造タンパク欠損症の治療	清水 宏(代表)	皮膚科	8,000千円	1 科学研究費 () ② 受託研究 (文部省再生医療の実現化プロジェクト幹細胞治療開発領域) 3 その他 ()
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	清水 宏(分担)	皮膚科	2,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働科学研究費 (難治性疾患克服研究事業))
ヒトリコンビナントVII型コラーゲン投与による表皮水疱症患者の治療	清水 宏(分担)	皮膚科	7,015,894円	1 科学研究費 () ② 受託研究 (研究事業名:構造・機能・研究支援拠点プログラム 研究題目:オール北海道先進医療・医療拠点形成) 3 その他 ()

重症型魚鱗癬の迅速診断法とDNAレベルでの出生前診断新規システムの確立	秋山真志(代表)	皮膚科	3,300千円	① 科学研究費（萌芽研究） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
ABCA12遺伝子変異による重症型魚鱗癬に対する新しい治療法の開発	秋山真志(代表)	皮膚科	5,300千円	① 科学研究費（基盤研究（B）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
後天性表皮水疱症モデルマウスの作成と病理メカニズムの解明	芝木晃彦(代表)	皮膚科	1,300千円	① 科学研究費（基盤研究（C）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
骨髓由来表皮細胞の遊走機序の解明ならびに臨床応用	阿部理一郎(代表)	皮膚科	7,000千円	① 科学研究費（若手研究（A）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
Gene silencingによる水疱型先天性魚鱗癬紅皮症の新規治療戦略	阿部由紀子(代表)	皮膚科	2,800千円	① 科学研究費（基盤研究（C）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
自己抗原ヒト化マウスを用いた新しい水疱性類天疱瘡モデルの作成	西江渉(代表)	皮膚科	1,330千円	① 科学研究費（若手研究（スタートアップ）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	久住一郎	精神科神経科	2,500千円	① 科学研究費（厚生労働省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
網羅的S N P解析による双極性障害関連遺伝子の探索と臨床応用	田中 輝明	精神科神経科	2,300千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
骨髓間質細胞による神経再生の臨床応用を目的としたトランスレーショナル研究	岩崎 喜信	神経外科	7,150千円	① 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
成人骨髓間質細胞による神経再生メカニズムの包括的治療戦略	飛騨 一利	神経外科	6,370千円	① 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
自己骨髄細胞による脳・脊髄外傷の機能回復療法の開発	黒田 敏	神経外科	6,240千円	① 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
ハイリスク群における脳卒中予防を目的とした血管再生療法の開発	黒田 敏	神経外科	1,800千円	① 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）

バイオイメージングを用いた骨髓間質細胞による神経再生の研究	矢野 俊介	神経外科	1,560千円	① 科学研究費 () 2 受託研究 () 3 その他 ()
機能的MRIを用いた脊髄損傷者の運動野に関する機能的研究	生駒一憲	リハビリテーション科	2,730千円	① 科学研究費 (基盤研究(C)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
高次脳機能障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究	生駒一憲 (分担研究者)	リハビリテーション科	1,200千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働省科学研究費)
高次脳機能障害者支援事業 (リハビリ支援コーディネート事業)	生駒一憲	リハビリテーション科	2,059千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (北海道受託事業)
人・機械・相互適応システムの構築に関する研究	生駒一憲 (分担研究者)	リハビリテーション科	1,000千円	① 科学研究費 (基盤研究(A)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
力学的環境変化により生じる膝蓋腱マトリクス改変現象の人為的制御に関する統合的研究	遠山晴一	リハビリテーション部	4,940千円	① 科学研究費 (基盤研究(B)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
中枢神経疾患における遂行機能障害に対する連続経頭蓋磁気刺激の臨床応用に関する検討	中馬孝容	リハビリテーション部	1,690千円	① 科学研究費 (基盤研究(B)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
補足運動野反復磁気刺激による大脳基底核疾患治療の開発	中馬孝容 (分担研究者)	リハビリテーション部	400千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働省科学研究費)
交通事故医療臨床的研究SWI法及びFMZ-PETによるびまん性軸索損傷の重症度と予後予測の検討	伊藤武哉	リハビリテーション科	1,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (日本損害保険協会一般研究助成)
経頭蓋直流電気刺激による高次脳機能障害の治療及びKM式安全運転助言検査と医学的評価を組み合わせた頭部障害患者における自動車運転の可否の検討	伊藤武哉	リハビリテーション科	1,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (日本損害保険協会一般研究助成)
経頭蓋電気刺激及び反復経頭蓋磁気刺激を用いた高齢脳外傷患者における高次脳機能障害に対する治療法の開発	竹内直行	リハビリテーション科	5,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (日本損害保険協会一般研究助成)
運動野固有周波数を用いた脳卒中後運動麻痺に対する両側反復経頭蓋磁気刺激法の開発	竹内直行	リハビリテーション科	2,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (医科学応用研究財団調査研究助成)

嚥下障害評価法の多変量解析-嚥下音を中心として	浦上祐司	リハビリテーション科	200千円	① 科学研究費（若手研究（B）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
ナノ微粒子体内動態可視化法の開発	遠山晴一 (分担研究者)	リハビリテーション部	1,200千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他（厚生労働省科学研究費 ）
前方視的無作為振り分け臨床試験による双胎間輸血症候群発症予防に関する研究	水上 尚典	産科	900千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
ラットを用いた子宮内炎症に起因する新生児慢性肺疾患の成立機序解明に関する研究	長 和俊	産科	1,100千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
胎盤の発生発達及び妊娠高血圧腎省におけるオートファジーの役割に関する研究	山田 崇弘	産科	1,700千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
核医学的手法を用いたプラーク性状評価に関する研究	玉木長良	核医学	1,600千円	① 科学研究費（文部科学省 ） 2 受託研究 3 その他（ ）
新しいP E T用製剤による悪性腫瘍の診断・評価	玉木長良	核医学	1,200千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究 ③ その他（厚生労働省がん研究助成金）
分子レベルの機能診断と標的治療の実現	玉木長良	核医学	2,100千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究 ③ その他（共同研究 ）
歯周疾患の進行とtoll様受容体リガンドの関連	中村 公也	予防歯科	2,210千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
糖尿病ラットにおけるブラッシングの歯肉マッサージ効果の検討	高橋 太郎	予防歯科	1,040千円	① 科学研究費（文部科学省） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
根面へのB M P付着と歯根膜のスキャホールドによる歯周組織再生	菅谷 勉	第二保存科	直接経費 1,100千円 間接経費	① 科学研究費（基盤研究（B）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
接着性レジン上にセメント質再生を伴う垂直破折歯根接着治療法の開発	田中 佐織	第二保存科	直接経費 1,300千円 間接経費	① 科学研究費（基盤研究（C）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）

重度歯周炎罹患歯の残存歯根膜を根面に増殖させた歯とBMPの移植による歯周組織再生	齋藤 彰	第二保存科	直接経費 1,100千円 間接経費	① 科学研究費（基盤研究（C）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
根面のBMP塗布とコラーゲンスキャフォールド移植による歯周組織再生療法の開発	宮治 裕史	第二保存科	1,300千円	① 科学研究費（若手研究（B）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
BMPと細胞の複合移植によって水平性骨欠損の歯周組織再生量の増大を目指す研究	齋藤 恵美子	第二保存科	1,100千円	① 科学研究費（若手研究（B）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
4-META/MMA-TBBレジンと骨との接着に関する研究	菅谷 勉	第二保存科	1,000千円	1 科学研究費（ ） 2 受託研究（ ） ③ その他（ノーステック財団 ）
高血糖期間の差がインプラント体埋入初期の周囲組織に与える影響	山本薰	義歯補綴専門外来	1,220千円	1 科学研究費（ 19890009 ） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
全部床義歯の動態解析に基づく顎堤形態の客観的・実用的な新しい診断法の開発	高山芳幸	義歯補綴専門外来	800千円	1 科学研究費（ 18592107 ） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
カーボンナノチューブを三次元スキャホールド及び表面修飾として用いた口腔組織の再建	横山敦郎	義歯補綴専門外来	6,100千円	1 科学研究費（ 19390488 ） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
平成18年度基盤研究(B)歯根膜の血管新生機構に対する機械的刺激の役割と加齢によるその常態変化	飯田順一郎	矯正科	3,900千円	① 科学研究費（ ） 2 受託研究 3 その他（ ）
平成18年度萌芽研究 先天性不正咬合マウス (BALB/c-bm/bm)における顎口腔機能異常発生機序の解明	飯田順一郎	矯正科	1,100千円	① 科学研究費（ ） 2 受託研究 3 その他（ ）
平成18年度基盤研究(C)歯・歯根膜・歯槽骨の三次元形態に基づいた新たな矯正学的歯の移動方法の明確化	佐藤嘉晃	矯正科	1,100千円	① 科学研究費（ ） 2 受託研究 3 その他（ ）
平成18年度若手研究(B)不正咬合発生機序におけるプロテオグリカンの役割	菅原由紀	矯正科	1,500千円	① 科学研究費（ ） 2 受託研究 3 その他（ ）
平成18年度基盤研究(C)矯正学的機械的ストレス下の骨免疫細胞コミュニケーションで果たす歯根膜細胞の役割	金壯律	矯正科	1,100千円	① 科学研究費（ ） 2 受託研究 3 その他（ ）

平成18年度若手研究(B) 遺伝子発現系を用いた硬組織合成メカニズムの解析	岡本亨	矯正科	500千円	① 科学研究費 () 2 受託研究 3 その他 ()
平成18年度若手研究(B) 顆関節症; 形態変化と滑液成分の関連-破骨細胞を動かす因子に着目して-	松野美乃	矯正科	1,300千円	① 科学研究費 () 2 受託研究 3 その他 ()
平成18年度若手研究(A) グレーデッドインデックス型光ポリマーを応用した、金属非可視型矯正ワイヤーの開発	豊泉裕	矯正科	1,300千円	① 科学研究費 () 2 受託研究 3 その他 ()
PET診断に基づいた器官温存を目指した新しい口腔癌治療戦略の確立	北川 善政	口腔診断内 科学教室	7200千円	① 科学研究費 (基盤研究(B)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
顎変形症の成因に関する咀嚼筋の筋病理学的研究	北川 善政	口腔診断内 科学教室	2000千円	① 科学研究費 (萌芽研究) 2 受託研究 () 3 その他 ()
発現遺伝子プロファイルを用いた口腔扁平苔癬の薬剤感受性と悪性化の診断に関する研究	山崎 裕	口腔診断内 科学教室	1300千円	① 科学研究費 (基盤研究(C)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
口腔扁平上皮がん再発のリスクファクターとしてのP53ファミリーの意義	石川 誠	口腔診断内 科学教室	1700千円	① 科学研究費 (基盤研究(C)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
ヒト舌癌特異的アデノウイルス二重感染法の樹立と応用への基礎	葛巻 哲	口腔診断内 科学教室	1500千円	① 科学研究費 (若手研究(B)) 2 受託研究 () 3 その他 ()
化学物質リスク研究事業ナノ微粒子の体内動態可視化法の開発	代表 亘理文夫 分担 北川善政	口腔診断内 科学教室	350千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他(厚生労働科学研究費補助金)
腫瘍血管内皮に対する遺伝子標的治療: siRNA, miRNAの口腔がんへの応用	戸塚 靖則	第二口腔外科	3,800千円	① 科学研究費 (基盤B) 2 受託研究 () 3 その他 ()
口腔がん微小リンパ節転移の検出-画像診断と分子生物学的マーカーのコラボレーション	小野 貢伸	第二口腔外 科	1,700千円	① 科学研究費 (基盤C) 2 受託研究 () 3 その他 ()
口腔がんの顎骨浸潤は抑制できるか? -EGFレセプターリン酸化阻害による効果-	戸塚 靖則	第二口腔外 科	1,500千円	① 科学研究費 (萌芽) 2 受託研究 () 3 その他 ()

自家神経移植の新たなドナーの追及・検討—歯髄神経を用いて—	松下 和裕	第二口腔外科	1,500千円	① 科学研究費 (若手B) 2 受託研究 () 3 その他 ()
2つのプロトコールによる唇顎口蓋裂治療の中期成績の比較検討	三古谷 忠	高次口腔医療センター	900千円	① 科学研究費 (基盤C) 2 受託研究 () 3 その他 ()
顎骨骨折・顎骨欠損への再生医療の試み 一ポリリン酸による顎骨誘導—	松沢 祐介	第二口腔外科	1,400千円	① 科学研究費 (萌芽) 2 受託研究 () 3 その他 ()
骨再生を促進する新しい生命機能マテリアルの開発	柏崎晴彦	高齢者歯科	2000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () 3 その他 (ニーステック財團研究開発シーズ育成補助金)
ブリッジ支台歯の歯根破折防止のための補綴物に関する力学的検討	小林國彦	高齢者歯科	2700千円	1 科学研究費 (基盤C) 2 受託研究 () 3 その他 ()
遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	松野 吉宏	病院病理部	14,250千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働省科学研究費)
診断用機器および診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究	松野 吉宏	病院病理部	5,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働省科学研究費)
悪性胸膜中皮腫の病態の把握と診断法、治療法の確立に関する研究	松野 吉宏	病院病理部	2,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働省科学研究費)
がん診療を標準化するための病理診断基準の確立に関する研究	松野 吉宏	病院病理部	1,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働省がん研究助成金)
多施設共同研究の質の向上のための研究体制確立に関する研究	松野 吉宏	病院病理部	1,000千円	1 科学研究費 () 2 受託研究 () ③ その他 (厚生労働省がん研究助成金)
脳腫瘍圧挫標本を用いたFISH法による脳腫瘍遺伝子診断法の開発	丸川 活司	病院病理部	760千円	① 科学研究費 (奨励研究) 2 受託研究 () 3 その他 ()
ヒトボカウイルス(パルボウイルス科)感染症の病態解明とウイルス粒子の分離・作成	石黒信久	感染制御部 (小児科)	2,200千円	1 科学研究費 (基盤研究 (C)) 2 受託研究 () 3 その他 ()

マイクロエマルジョン型シクロスボリン製剤の先発医薬品と後発医薬品の比較検討	植田 孝介	薬剤部	660千円	① 科学研究費（奨励研究） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
リネゾリド血中濃度測定の有用性	山崎 浩二郎	薬剤部	660千円	① 科学研究費（奨励研究） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
頭頸部癌に対するシスプラチン超選択性的動注における副作用調査	熊井 正貴	薬剤部	610千円	① 科学研究費（奨励研究） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）
抗がん剤をはじめとするヌクレオシド系薬物のトランスポーター介在輸送と薬効との関係	菅原 満	薬剤部	3,250千円	① 科学研究費（基盤研究（C）） 2 受託研究（ ） 3 その他（ ）

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発表年月	題名	発表者氏名	所属部門
Lung Cancer 56(2):201-206	2007.5	Virturl bronchoscopic navigation system shortens the examination time-Feasibility study of virtual bronchoscopic navigation system	Sinagawa S	第1内科
Expert opinion on durg delivery 4(3):287-295	2007.5	Durg delivery via nano-,maicro and macroporous coronary syent surfaces	tsujino I	第1内科
American journal of physiology.endocrinology and metabolism 292(6):1575-1580	2007.6	Estimation of Bcell function from the data of the oral glucose tolerance test	Sakaue S	第1内科
journal of immunotherapy 179(4):2310-2317	2007.8	Molecular and cellular requirements for enhanced antigen cross-presentation fo CD8 cytotoxic T lymphocytes	Oizumi S	第1内科
Chest 132(2):603-608	2007.8	Factors related to diagnostic yield of transbronchial biopsy using endobronchial ultrasonography with a guide aheath in small peripheral pulmonary lesions	Yamada N	第1内科
Experimental lung research 33(7):375-384	2007.9	Lipopolysaccharide-induced neutrophilic inflammation in the lungs differs with age	Ito Y	第1内科
Cancer science 98(9):1424-1430	2007.9	HLA class I antigen ecpression is associated with a favorable prognosis in early stage non-small cell lung cancer	Kikuchi E	第1内科
The journal of histochemistry and cytochemistry 50(9):899-909	2007.9	Loss of Caveolin-1 bronchiolization in lung fibrosis	Odajima N	第1内科
American journal of physiology.endocrinology and metabolism E1069-E1077	2007.10	Analysis of N-glycan in serum glycoproteins from db/db mice and humans with type 2 diabetes	Ito N	第1内科
Pulmonary pharmacology & therapeutics 20(5):549-555	2007.10	Pharmacokinetics of telithromycin using bronchoscopic microsampling after single and multiple oral doses	Kikuchi J	第1内科
Circulation journal 71(11):1829-1831	2007.11	Pilot study of short-term effects of a novel long-acting oral beraprost in patients with pulmonary arterial hypertension	Ikeda D	第1内科
Respiratory research 9(7):1-2	2008.1	Bronchiolar chemokine expression is different after single versus repeated cigarette smoke exposure	Betsuyaku T	第1内科
International journal of radiation oncology,biology,physics 70(2):382-384	2008.2	Histopathologic consideration of fiducial gold markers inserted for real-time tumor-tracking radiotherapy against lung cancer	Imura M	第1内科
Cancer immunology,immunotherapy 57(2):165-174	2008.2	Immunotherapy with dendritic cells pulsed with tumor-derived gp96 against murine lung cancer is effective through immune reponse of CD8(+) cytotoxic T lymphocytes and naturak killer cells	Shinagawa N	第1内科

Inhalation toxicology 20(3):349-359	2008.2	Decreased airway expression of vascular endothelial growth factor in cigarette smoke-induced emphysema in mice and COPD patients	Suzuki M	第1内科
Br J Haematol 137(4):349-354	2007.5	Delayed redistribution of CD27, CD40 and CD80 positive B cells and the impaired in vitro immunoglobulin production in patients with non-Hodgkin lymphoma after rituximab treatment as an adjuvant to autologous stem cell transplantation.	西尾 充史	第二内科
Lupus 16(7):509-516	2007.5	Human monoclonal antibodies against the complex of phosphatidylserine and prothrombin from patients with the	堀田 哲也	第二内科
J Lipid Res 48(6):1273-1279	2007.6	Perilipin regulates the thermogenic actions of norepinephrine in brown adipose tissue.	三好 秀明	第二内科
Arthritis Rheum 56(8):2803-2809	2007.8	A polymorphism in human platelet antigen 6b and risk of thrombocytopenia in patients with systemic lupus erythematosus.	渥美 達也	第二内科
Endocr J 57(4):517-520	2007.8	Increased Fructose 2,6-bisphosphate in Peripheral Blood Mononuclear Cells of Patients with Diabetes.	渥美 敏也	第二内科
J. Immunol 179(8):5399-5406	2007.10	The Proinflammatory Cytokine Macrophage Migration Inhibitory Factor Regulates Glucose Metabolism during Systemic Inflammation.	渥美 敏也	第二内科
J. Immunol 179(7):4890-4900	2007.10	Defective expression of ras guanyl nucleotide-releasing protein 1 in a subset of patients with systemic lupus erythematosus.	保田 晋助	第二内科
New Engl J Med 357(26):2734-2736	2007.12	Multiple autoimmune diseases after autologous stem-cell transplantation.	小池 隆夫	第二内科
blood 110(13):4141	2007.12	New therapeutic targets for antiphospholipid syndrome.	渥美 達也	第二内科
J Autoimmun 28(2-3):129-133	2007.12	Antiphospholipid antibodies: lessons from the bench.	小池 隆夫	第二内科
J Atheroscler Thromb.15(1):13-19	2008.1	The potential role of macrophage migration inhibitory factor on the migration of vascular smooth muscle cells.	小池 隆夫	第二内科
Mod Rheumatol 18(1):105-108	2008.1	Polymyalgia rheumatica as the manifestation of unclassified aortitis.	片岡 浩	第二内科
Clin Exp Rheumatol.26(1):129-132	2008.2	Thrombotic microangiopathy in patients with phosphatidylserine dependent antiprothrombin antibodies and antiphospholipid syndrome	小池 隆夫	第二内科
Arthritis Rheum 14(5):568-575	2008.2	Exchange of information in Rheumatology between East and West : From Man'yo-shu to the Future	渥美 達也	第二内科
Tokyo: Springer Japan KK; 2008 521-535	2008.2	Etiopathology of the Antiphospholipid syndrome, In: Tanaka K, Davie EW, editor. Recent Advances in Thrombosis and Haemostasis 2008	渥美 達也	第二内科
Int J Hematol	Jan-08	Administration of micafungin as prophylactic antifungal therapy in patients undergoing allogeneic stem cell transplantation	S Hashino	第三内科
Am J Physiol Cell Physiol, 292(1):C209-C215	2007年1月	Interleukin (IL)-1 and IL-6 induce hepatocyte plasminogen activator inhibitor-1 expression through independent signaling pathways converging on C/EBP δ .	Tsutsui H	循環器内科
J Atheroscler Thromb, 14(1):31-35	2007年2月	Platelet aggregability in patients with hypertension treated with angiotensin II type 1 receptor blockers.	Ishimori N	循環器内科

J Ultrasound Med, 26(2):169-177	2007年2月	Prevalence and clinical importance of spontaneous echo contrast within the carotid artery in patients with ischemic cerebrovascular	Yamada S	循環器内科
Circ J, 71(3):348-353	2007年3月	Elevated plasma plasminogen activator inhibitor type-1 is an independent predictor of coronary microvascular dysfunction in hypertension.	Tsutsui H	循環器内科
Circ J, 71(4):449-454	2007年4月	Characteristics and outcomes of patients with heart failure in general practices and hospitals -Japanese Cardiac Registry of Heart Failure in General Practice (JCARE-GENERAL)-	Tsutsui H	循環器内科
Heart Rhythm, 4(4):516-519	2007年4月	Novel SCN5A mutation (Q55X) associated with age-dependent expression of Brugada syndrome presenting as neurally mediated syncope.	Makita N	循環器内科
Hypertens Res, 30(5):439-449	2007年5月	Angiotensin II type 1 receptor blocker attenuates myocardial remodeling and preserves diastolic function in diabetic heart.	Tsutsui H	循環器内科
Int Heart J, 48(3):359-367	2007年5月	Induction of c-fos mRNA expression by pure pressure overload in cultured cardiac myocytes.	Tsutsui H	循環器内科
Hypertens Res, 30(6):541-548	2007年6月	Plasma interleukin-6 and tumor necrosis factor-alpha can predict coronary endothelial dysfunction in hypertensive patients.	Tsutsui H	循環器内科
FEBS J, 274(15):3855-3863	2007年7月	Fatty acids increase the circulating levels of oxidative stress factors in mice with diet-induced obesity via redox changes of albumin.	Tsutsui H	循環器内科
J Am Coll Cardiol, 50(12):1144-1149	2007年9月	Olmesartan, but not amlodipine, improves endothelium-dependent coronary dilation in hypertensive patients.	Tsutsui H	循環器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol, 293(6):H3643-H3649	2007年10月	Impaired activation of ATP-sensitive K ⁺ channels in endocardial myocytes from left ventricular hypertrophy.	Yokoshiki H	循環器内科
J Nucl Med, 48(11):1777-1782	2007年11月	Decreased myocardial β-adrenergic receptor density in relation to increased sympathetic tone in patients with nonischemic cardiomyopathy.	Tsutsui H	循環器内科
J Cardiovasc Pharmacol, 51(1):62-70	2008年1月	Pravastatin attenuates left ventricular remodeling and diastolic dysfunction in Angiotensin II-induced hypertensive mice.	Tsutsui H	循環器内科
日本心臓リハビリテーション学会誌, 13(1):63-66	2008年1月	血流制限下低強度レジスタンス運動中の筋内エネルギー代謝	絹川真太郎	循環器内科
Int J Mol Med, 21(2):181-187	2008年2月	Allograft inflammatory factor-1 augments macrophage phagocytotic activity and accelerates the progression of atherosclerosis in ApoE-/- mice.	Ishimori N	循環器内科
Leukemia	2007.7	Regulation of the expression of MHC class I-related chain A,B(MICA,MICB) via chromatin remodeling and its impact on the susceptibility of leukemic cells to the cytotoxicity of NKG2D-expressing cells	Junji Tanaka	血液内科
Experimental Hematology	2007.10	Expansion of natural killer cell receptor CD94/NKG214-expressing cytoytic CD8 T cells and CD4+CD25+ regulatory T cells from the same cold blood unit	Junji Tanaka	血液内科

Annals of Hematology	2008.3	Ciprofloxacin inhibits lipopolysaccharide-induced toll-like receptor4 and 8 expression on human monocytes derived from aduet and cold blood	Masahiro Imamura	血液内科
European Jurnal of Hematology	2008.2	Effects of the mean daily doses of imatinib during the first year on survival of patieohs a study of the Hokkaido hematology study Group	Masahiro Imamura	血液内科
Transplant Proc 40(2):617-19	2008 Mar	Effect of intrasplenic transplantation of immortalized human hepatocytes in the treatment of acetaminophen-induced acute liver failure SCID mice.	Tsuruga Yosuke	第一外科
日本臨床外科学会雑誌69(2):433-437	2008.2	術後5年目にポート部再発巣を切除した腹腔鏡下胆囊摘出後偶発胆囊癌の1例	腰塙靖之	第一外科
Oncogene. 27(4):441-449	2008 Jan	Novel risk stratification of patients with neuroblastoma by genomic signature, which is independent of molecular signature.	Tomioka Nobumoto	第一外科
Am J Transplant 8(1):250-2	2008 Jan	Does the permanent portacaval shunt for a small-for-size graft in a living donor liver transplantation do more harm than good?	Oura Tetsu	第一外科
日本臨床外科学会雑誌68(4):860-864	2007.4	アニサキス症により小腸イレウスをきたした1切除例	吉田雅	第一外科
Cancer Sciense 98(5):665-673	2007 May	Protein expression associated with early intrahepatic recurrence of hepatocellular carcinoma after curative surgery.	Yokoo Hideki	第一外科
北海道外科雑誌52(1):32-36	2007.6	緊急手術を要した巨大乳腺扁平上皮癌の1例	渡辺正明	第一外科
Oncogene. 26(38):5669-5673	2007 Aug	DFF45/ICAD restores cisplatin-induced nuclear fragmentation but not DNA cleavage in DFF45-deficient neuroblastoma cells	Takahashi Masato	第一外科
Oncol Rep. 18(2):343-6	2007 Aug	Differential levels of human leukocyte antigen-class I, multidrug-resistance 1 and androgen receptor expressions in untreated prostate cancer cells: The robustness of prostate cancer.	Homma Sigenori	第一外科
Int J Clin Oncol. 12(5):363-8	2007 Oct	Efficacy of preoperative radiotherapy to portal vein tumor thrombus in the main trunk or first branch in patients with hepatocellular	Kamiyama Toshiya	第一外科
日本消化器外科学会雑誌40(11):1799-1804,	2007.11	肝右三区域切除に肝静脈人工血管グラフト再建を行った肝細胞癌の1例	田原 宗徳	第一外科
日本消化器外科学会雑誌40(11):1828-1833	2007.11	術前放射線化学療法を施行し切除した局所過進展膵癌の1例	渡辺正明	第一外科
Liver Transpl 13(11 Suppl 2):S48-54	2007 Nov	Japanese Liver Transplantation Study Group. Extending indication: role of living donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma.	藤堂 省	第一外科
Liver Transpl 13(12):1623-6	2007 Dec	Surgical stress and tumor behavior: impact of ischemia-reperfusion and hepatic resection on tumor progression.	Ozaki Michitaka	第一外科
Ann Surg 246(1):46-51	2007年7月	Distal Pancreatectomy With En Bloc Celiac Axis Resection for Locally Advanced Pancreatic Body Cancer Long-term Results	Hirano S	第二外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 14(5):429-433	2007年9月	Treatment strategy for hilar cholangiocarcinoma, with special reference to the limits of ductal resection in right-sided hepatectomies	Hirano S	第二外科

Am J Surg 194(3)416-418	2007年9月	Laparoscopic modified Devine exclusion gastrojejunostomy as a palliative surgery to relieve malignant pyloroduodenal obstruction by unresectable cancer	Suzuki O	第二外科
J Neurosurg Spine 6: 431-437	2007.5	Evaluation of hydroxyapatite ceramic vertebral spacers with different porosities and their binding capability to the vertebral body: an experimental study in sheep	Ito, M	整形外科
J Biomed Mater Res A 81: 586-593	2007.6	Effect of pore size on in vitro cartilage formation using chitosan-based hyaluronic acid hybrid polymer fibers	Yamane, S	整形外科
Clin Orthop Relat Res 459: 200-	2007.6	Rotational acetabular osteotomy through an Ollier lateral U approach	Ito, H.	整形外科
J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci. 853: 133-137	2007.6	Detection of altered N-glycan profiles in whole serum from rheumatoid arthritis patients	Nakagawa, H	整形外科
J Bone Joint Surg [Am] 89: 1238-1247	2007.6	Tumor location affects the results of simple excision for multiple osteochondromas in the forearm	Ishikawa, J	整形外科
Spine 32: 1543-1550	2007.6	Accuracy analysis of pedicle screw placement in posterior scoliosis surgery: comparison between conventional fluoroscopic and computer-assisted technique	Kotani, Y.	整形外科
J Engineering in Med 221: 537-546	2007.7	Chitosan-based hyaluronan hybrid polymer fibre scaffold for ligament and tendon tissue engineering	Majima, T	整形外科
Bone 41: 77-86	2007.7	Sialylation of cell surface glycoconjugates is essential for osteoclastogenesis	Takahata, M.	整形外科
Mod Rheumatol 17: 322-326	2007.8	Motion analysis of the wrist joints in patients with rheumatoid arthritis	Yayama, T	整形外科
J Spinal Disord Tech 20:449-455	2007.8	Comparison of novel ultra-high molecular weight polyethylene tape versus conventional metal wire for sublaminar segmental fixation in the treatment of adolescent idiopathic scoliosis	Takahata, M	整形外科
Bone 41: 775-85	2007.11	Enhancement of graft bone healing by intermittent administration of human parathyroid hormone (1-34) in a rat spinal arthrodesis model	Abe, Y	整形外科
Am J Sports Med 35:2096-100	2007.12	Donor site evaluation after autologous osteochondral mosaicplasty for cartilaginous lesions of the elbow joint	Iwasaki, N.	整形外科
Eur Spine J 16:2215-24	2007.12	Effect of Hydroxyapatite porous characteristics on healing outcomes in rabbit posterolateral spinal fusion model	Motomiya, M.	整形外科
Clin Orthop Relat Res 465:215-9	2007.12	Factors affecting results of ulnar shortening for ulnar impaction syndrome	Iwasaki, N.	整形外科
Acta Crystallogr Sect F Struct Biol Cryst Commun 63: 1061-1063	2007.12	Crystallization and preliminary crystallographic analysis of the Tob-hCaf1 complex	Nishida, K	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 16:152-6	2008.2	Clinical results of posterior cruciate ligament retaining TKA with alumina ceramic condylar prosthesis: comparison to Co-Cr alloy prosthesis	Majima, T.	整形外科
Jpn J Endourol ESWL	2007年 発表月不明	冷却腎血流遮断下の腹腔鏡下腎部分切除術における温度動態 —静脈遮断の影響、開放手術との比較。	原林 透	泌尿器科

日本脊髄障害医学会雑誌	2008年 発表月不明	小児脊髄損傷における下部尿路機能の臨床経過について	三井 貴彦	泌尿器科
日本小児腎不全学会雑誌	2007年 8月	尿路異常に起因する腎不全に対する小児腎移植の成績	森田 研	泌尿器科
泌尿器外科	2007年 5月	膀胱超音波検査による二分脊椎症患児の下部尿路機能評価の試み	田中 博	泌尿器科
Eur Urol	2007年10月	Impact of multimodal treatment on survival in patients with metastatic urothelial carcinoma	Abe T	Ulorogy
Urology	2007年 2月	Postoperative inguinal hernia after radical prostatectomy for prostate cancer	Abe T	Ulorogy
BJU International	2007年 7月	An α -amino-3-hydroxy-5-methyl-4-isoxazolepropionate glutamate-receptor antagonist can inhibit premeicturition contractions in rats with bladder outlet obstruction.	Kitta T	Ulorogy
J Urol.	2007年10月	Long-term patient reported outcome of urinary symptoms after hypospadias surgery: norm related study in adolescents.	Moriya K	Ulorogy
Jpn J Endourol ESWL	2007年10月	Ten-year consecutive experience with cystourethroscopic procedures in children:Hokkaido university experience.	Nonomura K	Ulorogy
Immunology	2007年10月	Glycogen synthase kinase 3 activity during development of bone marrow-derived dendritic cells (DC) essential for the DC function to induce T helper 2 polarization.	Ono T	Ulorogy
Am J Patho	2007年 3月	Cathepsin G is required for sustained inflammation and tissue injury after reperfusion of ischemic kidneys.	Shimoda N	Ulorogy
Pediatr Surg Int 23(10):947-951	2007年10月	Laparoscopic liver biopsy using cup-shaped punch biopsy forceps and argon beam coagulator in children.	Tadao Okada	小児外科
Eur J Pediatr Surg 17(5):304-307	2007年10月	Microbial Flora Alterations in Jejunum and Colon by Chemical Bowel Preparation before Kasai Hepatopportojejunostomy.	Tadao okada	小児外科
J Pediatr Surg 43(3):579-582	2008年3月	Usefulness of axial planes of helical computed tomography for diagnosis of pancreaticobiliary maljunction in early infants with negative findings on magnetic resonance cholangiopancreatography.	Tadao Okada	小児外科
Inflammation 30 14-27	2007,4	Differential expression, time course and distribution of 4 PARs in rats endotoxin-induced acute lung injury	Gando S	先進急性期医療センター
Clin Appl Thromb Hemost 13:172-8	2007,4	A prospective comparison of new Japanese criteria for disseminated intravascular coagulation.:new Japanese criteria versus ISTH criteria.	Hayakawa M	先進急性期医療センター
Thromb Res 121:67-73	2007,6	The activation of neutrophil elastase-mediated fibrinolysis is not sufficient to overcome the fibrinolytic shutdown of disseminated intravascular coagulation associated with systemic inflammation.	Gando S	先進急性期医療センター
Inflammation 30:118-24	2007,8	High macrophage migration inhibitory factor levels in disseminated intravascular coagulation patients with systemic inflammation.	Gando S	先進急性期医療センター
Shock 28:411-417	2007,10	SIRS-associated coagulopathy and organ dysfunction in critically ill patients with thrombocytopenia.	Gando S	先進急性期医療センター
J Trauma 63:1093-1098	2007,11	Predicting the severity of SIRS-associated coagulopathy with hemostatic molecular markers and vascular endothelial injury markers	Gando S	先進急性期医療センター
日本救急医学会雑誌 18:169-78	2007,5	救急医療施設における頭部外傷後高次脳機能障害の問題点	早川峰司	先進急性期医療センター

日本救急医学会雑誌 18:237-245	2007.6	急性期DIC診断基準－第二次多施設前向き試験結果－1. 総論 急性期DIC診断基準で診断されたDIC症例の特徴と予後	丸藤哲	先進急性期医療センター
日本救急医学会雑誌 18:246-251	2007.6	急性期DIC診断基準－第二次多施設前向き試験結果－2. DIC症例の全体像と病態別特徴	丸藤哲	先進急性期医療センター
日本救急医学会雑誌 18:252-256	2007.6	急性期DIC診断基準－第二次多施設前向き試験結果－3. 感染症と非感染症による差異	丸藤哲	先進急性期医療センター
日本救急医学会雑誌 18:257-260	2007.6	急性期DIC診断基準－第二次多施設前向き試験結果－4. SIRS-associated coagulopathy(SAC)の転帰予測因子	丸藤哲	先進急性期医療センター
日本救急医学会雑誌 18:261-267	2007.6	急性期DIC診断基準－第二次多施設前向き試験結果－5. 急性期DIC患者におけるアンチトロンビン活性値測定の意義	丸藤哲	先進急性期医療センター
日本救急医学会雑誌 18:268-272	2007.6	急性期DIC診断基準－第二次多施設前向き試験結果－6. 治療効果の分析	丸藤哲	先進急性期医療センター
日本血栓止血学会雑誌 18:619-626	2007.10	臨床医のDICに対する診療の現状－第1回東海DIC up to Dateのアンサーパッドの集計より－	丸藤哲	先進急性期医療センター
日本救急医学会雑誌 18:793-802	2007.12	産科領域のDIC診断に対する急性期DIC診断基準の応用	平安山直美	先進急性期医療センター
J Neurol Sci 266:164-166	2008.3	Usefulness of the Scale for Assessment and Rating of Ataxia (SARA)	Yabe I	神経内科
Scand J Immunol 67:230-237	2008.3	Effect of high fat diet on NKT cell function and NKT cell-mediated regulation of Th1 responses	Niino M	神経内科
Neurosci Lett 431:86-89	2007.12	Secretion of DJ-1 into the serum of patients with Parkinson's disease	Tsuji S	神経内科
J Hum Genet 52:848-855	2007.9	Spectrum and prevalence of autosomal dominant spinocerebellar ataxia in Hokkaido, the northern island of Japan: a study of 113 Japanese families	Sasaki H	神経内科
Am J Gastroenterol 102(4): 911-912	2007.4	Argument on statement 46 in the Montreal definition of gastroesophageal reflux disease: does reflux laryngitis patient always have heartburn?	Oridate N	耳鼻咽喉科
Immunobiology 212(7):537-547	2007.5	IL-21 enhances dendritic cell ability to induce interferon-gamma production by natural killer T cells	Maeda M	耳鼻咽喉科
J Neurophysiol 97(6): 4096-4107	2007.6	Activity changes in monkey superior colliculus during saccade adaptation.	Takeichi N	耳鼻咽喉科
Oncogene 27(6):831-8	2008.1	Increased mitochondrial DNA induces acquired docetaxel resistance in head and neck cancer cells	Mizumachi T	耳鼻咽喉科
耳展 50(1): 8-18	2007	<総説>頭頸部癌に関する最近の動向	福田 諭	耳鼻咽喉科
日耳鼻 110(2): 76-81	2007	ウイルスによる難聴	福田 諭	耳鼻咽喉科
耳展 50(5): 379-381	2007.10	各種手術支援機器を用いたendoscopic medial maxillectomy	古田 康	耳鼻咽喉科
Facial N Res Jpn 27: 221-224	2007	神経端側縫合(epineurial window technique)を用いた顔面神経再建－耳下腺腫瘍例における経験－	古田 康	耳鼻咽喉科
Facial N Res Jpn 27: 41-44	2007	Zoster sine herpeteのウイルス診断	古田 康	耳鼻咽喉科
日気食会報 58(4): 417-421	2007	気管内挿入チューブの側孔を利用したvoice prosthesis 二期的挿入	古田 康	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 33(3): 356-360	2007	喉頭癌に対する化学放射線同時併用療法後salvage手術の合併症	古田 康	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 33: 465-469	2007	喉頭癌治療後の音声に関するQOLの検討	折館伸彦	耳鼻咽喉科

喉頭 19: 59–64	2007	放射線治療を受けた喉頭癌患者の治療後音声に関するQOLの検討	折館伸彦	耳鼻咽喉科
日本医事新報 4324: 49–52	2007	<総説>胃食道逆流による耳鼻咽喉科領域症状の診断	折館伸彦	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 53: 116–120	2007	咽喉頭逆流症に対する酸抑制治療の自覚症状スコアによる評価の有用性と問題点	折館伸彦	耳鼻咽喉科
癌と化学療法 34: 1027–1030	2007	Current Organ Topics:頭頸部癌 II.動注化學療法と放射線治療併用	本間明宏	耳鼻咽喉科
JOHNS 23: 599–602	2007	【口腔癌にどう対応するか 症例から学ぶ】上歯肉癌、硬口蓋癌 T3・T4症例の化学療法・放射線治療	本間明宏	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 33(1): 39–42	2007	超選択的動注+照射の同時併用療法におけるリンパ節転移への効果	本間明宏	耳鼻咽喉科
日耳鼻 110(5):416–9	2007.5	<症例報告>プロトンポンプ阻害剤の投与にて改善したmuscle tension dysphoniaの3例	目須田 康	耳鼻咽喉科
Nat Med 13: 378–383	2007	Humanization of autoantigen.	Nishie W	皮膚科
J Allergy Clin Immunol 119: 434–440	2007	Unique mutations in the filaggrin gene in Japanese patients with ichthyosis vulgaris and atopic dermatitis.	Nomura T	皮膚科
Am J Pathol 171: 43–52	2007	Expression of the keratinocyte lipid transporter ABCA12 in developing and reconstituted human epidermis.	Yamanaka Y	皮膚科
J Invest Dermatol 127: 2669–2673	2007	Novel ABCA12 mutations identified in two cases of non-bullous congenital ichthyosiform erythroderma associated with multiple skin malignant neoplasia.	Natsuga K	皮膚科
Am J Hum Genet 82: 73–80	2008	Oncostatin M receptor-beta mutations underlie familial primary localized cutaneous amyloidosis.	Arita K	皮膚科
J Invest Dermatol 128: 1436–1441	2008	Specific filaggrin mutations cause ichthyosis vulgaris and are significantly associated with atopic dermatitis in Japan.	Nomura T	皮膚科
J Immunol 180: 2581–2587	2008	Mesenchymal stem cells are recruited into wounded skin and contribute to wound repair by transdifferentiation into multiple skin	Sasaki M	皮膚科
J Invest Dermatol 128: 1648–1652	2008	Mild recessive bullous congenital ichthyosiform erythroderma due to a previously unidentified homozygous keratin 10 nonsense mutation.	Tsubota A	皮膚科
Prog Neuropsychopharmacol biol Psychiatry 32:204–208	2008	A possible association between missense polymorphism of the breakpoint cluster region gene and lithium prophylaxis in bipolar disorder	Masoi T	精神神経科
J Biomech 40(10):2184–90	2007.10	Antibody neutralization of TGF-beta enhances the deterioration of collagen fascicles in a tissue-cultured tendon matrix with ex vivo fibroblast infiltration	Tohyama H	リハビリテーション科
Arthroscopy 23(8):869–76	2007.08	Radiologic evaluation of femoral and tibial tunnels created with the transtibial tunnel technique for anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction.	Tohyama H	リハビリテーション科
J Bone Joint Surg Br 89(9):1261–7	2007.09	The responses of extrinsic fibroblasts infiltrating the devitalised patellar tendon to IL-1beta are different from those of normal tendon	Tohyama H	リハビリテーション科

Stroke 38(5):1551-6.	2007.05	Disinhibition of the premotor cortex contributes to a maladaptive change in the affected hand after stroke	Ikoma K	リハビリテーション科
Neuropsychological Rehabilitation 17(6):723-34	2007.12	N200 latency and P300 amplitude in depressed mood post-traumatic brain injury patients	Ikoma K	リハビリテーション科
Am J Phys Med Rehabil 87(1):74-7	2008.01	Repetitive transcranial magnetic stimulation of the unaffected hemisphere in a patient who was forced to use the affected hand	Ikoma K	リハビリテーション科
J Nucl Med	2008年1月	Usefulness of ¹¹ C-methionine for differentiating tumors from granulomas in experimental rat models	Zhao S	核医学
Clin Psychopharmacol	2007年12月	Effects of lithium on brain glucose metabolism in healthy men	Kohno T	核医学
J Nucl Med	2007年11月	Decreased Myocardial β -Adrenergic Receptor-Density in Relation to Increased Sympathetic Tone in Patients with Nonischemic Cardiomyopathy	Tsukamoto T	核医学
J Nucl Med	2007年9月	Extensive FDG uptake and its modification with corticosteroid in a granuloma rat model	Zhao S	核医学
J Nucl Cardiol	2007年5月	The Japanese experience with metabolic imaging in the clinical setting	Tamaki N	核医学
Hypertension Research	2007年6月	Plasma Interleukin-6 and Tumor Necrosis Factor- α Can Predict Coronary Endothelial Dysfunction in Hypertensive patients	Naya M	核医学
J Am Coll Cardiol	2007年9月	Olmesartan, but not amlodipine, ameliorates impaired endothelium-dependent coronary dilation in hypertensive patients	Naya M	核医学
Ann Nucl Med	2007年8月	Comparison of MET-PET and FDG-PET for differentiation between benign lesions and lung cancer in pneumoconiosis	Kanegae K	核医学
Eur J Nucl Med Mol Imaging	2007年4月	Comparison of ^{99m} Tc-annexin A5 with ¹⁸ F-FDG for detecting atherosclerosis in ApoE-/-mice.	Zyao Y	核医学
Clinical Biochemistry	2008.1	A nurel assay system for nyelo peroxidase activity in whole saliva	Kanehira T	予防歯科
日歯保存誌, 50(6):721-730	2007年12月	TAD-Albumin glueによる象牙質と軟組織との接着	川浪 雅光	第二保存科
日歯保存誌, 50(6):792-798	2007年12月	骨粗鬆症がBMP-2の骨形成反応に及ぼす影響	小田島 朝臣	第二保存科
日歯周誌, 49(4):296-304	2007年12月	1壁性骨欠損における歯根象牙質表面へのBMP-2塗布による歯周組織再生効果	宮治 裕史	第二保存科
日歯周誌, 49(4):285-295	2007年12月	歯周病患者のセルフケアに対する自己効力感測定尺度の開発－信頼性と妥当性の検討－	川浪 雅光	第二保存科
J Oral Tissue Engin, 5(2): 87-95	2007年12月	The effects of collagen hydrogel implantation in buccal dehiscence defects in beagles	宮治 裕史	第二保存科
日歯周誌, 49(3):239-249	2007年 9月	Papillon-Lefevre症候群と診断した姉弟例	菅谷 勉	第二保存科
Dent Mater J, 26 (4):481-486	2007年 7月	Effect of dose of recombinant human BMP-2 on bone formation at palatal sites in young and old rats	小田島 朝臣	第二保存科
Oral Diseases 14(2):180-184	2008年 3月	Microbial Changes in patients with acute periodontal abscess after treatment detected by Pado Test	川浪 雅光	第二保存科
J periodontol,79(1):1-7	2008年 1月	Oral health care-specific self-efficacy assessment predicts patient completion of periodontal treatment: a pilot cohort study	川浪 雅光	第二保存科

Journal of Biomedical Materials Research: Part B – Applied Biomaterials	2007	Mechanical properties and biological behavior of carbon nanotube/polycarbosilane composites for implant materials	Atsuro Yokoyama	義歯補綴専門外来
Hokkaido Journal of Dental Science	2007.6	Maxillary canines as abutments of removable partial dentures: a finite element analysis	Hiroko Sasaki	義歯補綴専門外来
Prosthodontic Research & Practice	2007.12	Effects of Splinting on Displacement of Maxillary Canines as Abutments of Removable Partial Dentures: a Finite Element Analysis	Hiroko Sasaki	義歯補綴専門外来
Neuroscience	2007.4	Cerebral activation related to the control of mastication during changes in food hardness	Atsuro Yokoyama	義歯補綴専門外来
Dent Mater J	2007.6.	X-ray absorption fine structure (XAFS) analysis of titanium-implanted soft tissue	Atsuro Yokoyama	義歯補綴専門外来
J Biomed Mater Res	Oct-07	CaTiO ₃ coating on titanium for biomaterial application -Optimum thickness and tissue response	Atsuro Yokoyama	義歯補綴専門外来
Cranio Mandibular Practice	Oct-07	Examination of the relationship between mandibular position and body posture	Kiwamu Sakaguchi	義歯補綴専門外来
WORLD JOURNAL OF ORTHODONTICS,8(2),p167-173	平成19年6月	BIOMECHANICAL RATIONALE FOR SURGICALLY FACILITATED EXPANSION OF THE MAXILLA IN THE CLEFT PALATE PATIENT	日下部豊寿	矯正科
日本顎関節学会雑誌,19(1),p6-11	平成19年4月	非復位性顎関節円板前方転位例における滑液中の活性酸素の測定	岡本 亨	矯正科
北海道矯正歯科学会誌,35(1),p9-17	平成19年12月	片側性唇顎口蓋裂患者における上顎急速側方拡大による上顎歯列弓の形態変化	岩崎弘志	矯正科
Orthodontic Waves,67,p45-53	平成19年12月	Multivariate analysis of factors affecting dental arch relationships in Japanese unilateral cleft lip and palate patients at Hokkaido University Hospital	梶井貴史	矯正科
北海道歯誌,29(1),p99-105	平成20年3月	マルチプラケット装置が管楽器演奏に与える影響について一吹きづらさと疼痛の観点から	梶井貴史	矯正科
北海道歯誌,29(1),p50-60	平成20年3月	前後および上下の咬合関係と高い相関を認める骨格系角度計測値の	飯田順一郎	矯正科
Oral Surgery Oral Medicine Oral Pathology Oral Radiology and Endodontics,	2007. April	Expression of interleukin 8 in synovial tissues in patients with internal derangement of the temporomandibular joint and its relationship with clinical variables. 103(4): 467-474.	Sato J	口腔診断内科
Oral Oncology	2007. May	Gene expression signatures that can discriminate oral leukoplakia subtypes and squamous cell carcinoma. 43(5): 455-462.	Yamazaki Y	口腔診断内科
Br J Oral Maxillofac Surg	2007. June	Anchored disc phenomenon with a normally positioned disc in the temporomandibular joint: Characteristics and behavior.45(2): 279-	Sato J	口腔診断内科
J Oral Maxillofac Surg	2007. June	Recovery from postsurgical swallowing dysfunction in patients with oral cancer. 65(6): 1077-1083.	Yamazaki Y	口腔診断内科
Br J Oral Maxillofac Surg	2007. July	Specific expression of substance P in synovial tissues of patients with symptomatic, non-reducing internal derangement of the temporomandibular. 45(5): 372-377.	Sato J	口腔診断内科

Oral Surgery Oral Medicine Oral Pathology Oral Radiology and Endodontics,	2007. July	Remarkable response of juvenile diffuse sclerosing osteomyelitis of mandible to pamidronate. 104(1): 67-71.	Yamazaki Y	口腔診断内科
Oral Surgery Oral Medicine Oral Pathology Oral Radiology and Endodontics,	2007. August	Expression of receptor activator of nuclear factor- κ B ligand(RANKL) in synovial tissue: Comparison with degradation of articular cartilage in temporomandibular joint disorders. 104(2): e12-e17.	Sato J	口腔診断内科
Asian J Oral Maxillofac Surg	2007. December	Thrombocytopaenia associated with loxoprofen sodium. 19(4): 226-229.	Sato J	口腔診断内科
International Journal of molecular medicine	2008. March	Mechanical stress directly suppresses osteoclast differentiation in RAW264.7 cells. 21(3): 268-273.	Suzuki N	口腔診断内科
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	2007年8月	チームですすめる口腔ケアの実際. 17(2): 139-142.	北川 善政	口腔診断内科
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	2007年8月	肺炎予防と口腔ケア. 17(2): 133-138.	北川 善政	口腔診断内科
高齢者問題研究	2007年9月	計画的口腔ケアによる高齢の口腔癌入院患者の合併症予防に関する研究. 23, 31-43.	佐藤 淳	口腔診断内科
頭頸部癌	2007年10月	口腔癌におけるPET診断の有用性 -FDG-PETとMET-PETの比較- 33(3): 220-225.	北川 善政	口腔診断内科
頭頸部癌	2007年4月	頭頸部放射線化学療法における口腔粘膜炎発症頻度. 33(1): 48-53.	秦 浩信	口腔診断内科
日口粘膜誌	2007年12月	頭頸部化学放射線療法における口腔粘膜炎とオピオイド使用頻度に関する調査. 13(2): 57-61.	秦 浩信	口腔診断内科
口腔腫瘍	2008年3月	歯科口腔外科における口腔癌術後の摂食・嚥下障害への対応－アンケート調査から－	山崎 裕	口腔診断内科
Dentomaxillofacial Radiology	36,113-116,2007	CT and MRI findings of intraosseous schwannoma of the mandible	minowa k	歯科放射線
Radat.med	25,181-186,2007	Experience of nigh-dose-rate brachytherapy for head and neck cancer treated by intra oral moed technology	obinata k	歯科放射線
口腔腫瘍	19,139-161,2007	口腔癌治療ガイドライン－舌癌－	中村 太保	歯科放射線
口腔腫瘍	19,163-175,2007	アンケート調査よりみた舌扁平癌治療の現状と問題点	中村 太保	歯科放射線
Dentomaxillofacial Radiology	37,1-4,2008	vacum phenomenaon in mon-open fractare of the mandiblan andyle	minowa k	歯科放射線
Journal of Anesthesia	2007	Corvelation between precise and simple tests in recovery of dynamic balance function after intravenous sedation with midazolam in elderil	T Fujisawa	歯科麻酔
European Jounal of Anaesthesiology	2007	Study the usefulness of precise and simple dynamic malance tests for the evaluation of recovery from intervenous sedation with midazolam and propofol	T Fujisawa	歯科麻酔
British Jounal of Oral and Mayillofacial Surgery	2007	Recovery of dynamic balance after additioral small divided doses of midazolam intravenously for sedation	T Fujisawa	歯科麻酔
障害者歯科	2007	ミオパチー合併患者の歯科治療時の全身管理	亀倉 更人	歯科麻酔
Special Cave Dentistry	2007.10	Fitting complete denture after mulitple tooth extraction in a patient with severe dementia	T Fujisawa	歯科麻酔

日本歯科麻酔学会	2007.10	パニック障害患者に対する歯科治療時の全身管理	大船 由理	歯科麻酔
北海道歯学雑誌(28巻110-119ページ)	平成19年12月	歯槽骨再生材料としてのキトサン/ハイドロキシアパタイトナノ複合体の力学的および生物学的特性	柏崎晴彦	高齢者歯科
Ann. Surg. Oncol., 14(5): 1694-1702	2007年5月	Detection of minimal gastric cancer cells in peritoneal washings by focused microarray analysis with multiple markers: clinical	Yoshihiro Matsuno	病理部
Jpn. J. Clin. Oncol., 37(5): 337-344	2007年5月	Primary ocular adnexal MALT lymphoma: A long-term follow-up study of 114 patients.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Cancer Sci., 98(7): 985-991	2007年7月	Gene expression profiling of epidermal growth factor receptor/KRAS pathway activation in lung adenocarcinoma.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Clin. Cancer Res., 13(18): 5385-5390	2007年9月	Epidermal growth factor receptor mutation detection using high-resolution melting analysis predicts outcomes in patients with advanced non small cell lung cancer treated with gefitinib.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 69(4): 1181-1186	2007年11月	A multicenter phase II study of local radiation therapy for stage IEA mucosa-associated lymphoid tissue lymphomas: a preliminary report from the Japan Radiation Oncology Group (JAROG).	Yoshihiro Matsuno	病理部
Cancer Sci., 98(11): 1714-1719	2007年11月	Epidermal growth factor receptor mutation status and clinicopathological features of combined small cell carcinoma with adenocarcinoma of the lung.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Respirology, 12(6): 856-862	2007年11月	Development and validation of diagnostic prediction model for solitary pulmonary nodules.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Jpn. J. Clin. Oncol., 37(12): 907-912	2007年12月	Molecular markers and changes of computed tomography appearance in lung adenocarcinoma with ground-glass opacity.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Jpn. J. Clin. Oncol., 37(12): 913-917	2007年12月	Correlation of the solid part on high-resolution computed tomography with pathological scar in small lung adenocarcinomas.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Pathol. Int., 58(1): 31-37	2008年1月	Immunohistochemical expression of TTF-1 in various cytological subtypes of primary lung adenocarcinoma, with special reference to intratumoral heterogeneity.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Arch. Pathol. Lab. Med., 132(2): 239-243	2008年2月	Analysis of expression patterns of breast cancer-specific markers (mammaglobin and gross cystic disease fluid protein-15) in lung and pleural tumors.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Surg Today, 38(3): 245-248	2008年3月	Successful resection of dermatomyositis associated with thymic carcinoma: Report of a case.	Yoshihiro Matsuno	病理部
病理と臨床、26(1): 48-54	2008年1月	C型肝炎・肝硬変移植後に注意すべき病理像	久保田佳奈子	病理部
臨床血液、49(1): 10-17	2008年1月	眼付属器原発MALTリンパ腫	松野吉宏	病理部
J Clin Microbiol 45(10): 3218-23; 2007	Aug-07	Seroepidemiology of human bocavirus in Hokkaido prefecture, Japan	Endo. N, Ishiuro, N et al.	感染制御部、小児科
J Clin Microbiol 46(3): 928-32; 2008	Jan-08	Comparison of a lateral-flow immunochromatography assay with real-time reverse transcription-PCR for detection of human metapneumovirus	Kikuta. H, et al.	感染制御部、小児科

Introcan Safety Case Study Vol.4 ビー・ブラウンエースクラップ株式会社出版 (学術小冊子)	2007年8月	北海道大学病院における針刺し防止対策の取り組み	奥 直子	感染制御部
Journal of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 10巻1号 71-85ページ	平成19年4月	Difference between pharmacokinetics of mycophenolic acid (MPA) in rats and that in humans is caused by different affinities of MRP2 to a glucuronized form	菅原 満	薬剤部
Biological Pharmaceutical Bulletin 30巻11号 2146-2153ページ	平成19年11月	Stereoselective metabolism of racemic carvedilol by UGT1A1 and UGT2B7, and effects of mutation of these enzymes on glucuronidation activity	菅原 満	薬剤部
医療薬学 34巻1号 20-25ページ	平成20年1月	心臓血管造影剤による急性腎機能低下に対するアセチルシスティンの予防効果および製剤の評価	清川 真美	薬剤部
TDM研究 25巻1号 28-36ページ	平成20年1月	MRSA感染治療におけるteicoplaninの投与設計の検討	菅原 満	薬剤部

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 浅香正博
管理担当者氏名	総務課長 山崎賢司 薬剤部長 井健 医事課長 成田博昭

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録			<ul style="list-style-type: none"> 病歴資料については、診療科毎に作成、保管管理（一診療科一診療録） 処方せんについては、薬剤部において保管管理 エックス線写真については、各診療科において保管管理 <p>なお、平成12年10月1日以降退院する患者に係る入院診療録（看護記録、サマリーを含む）及び外来診療録の一部は、診療録管理室にて保管管理</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部	
確規 保則 の第 状9 況条 の2 3及 び第 1条 の1 各号 に掲 げる 体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第1条の1各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課	分類方法
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	総務課	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	総務課	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	総務課	
			総務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 浅香正博
閲覧担当者氏名	総務課長 山崎賢司
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	
医 師	延 0 件
歯 科 医 師	延 0 件
国	延 0 件
地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	70.6 %	算 定 期 間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			14,462人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			11,888人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			677人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			26,353人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (GRM 4名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専従 (GRM2+事務2) 名 専任 (GRM2) 名 兼任 (19) 名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療の質向上に向けた対策の検討、実施・ 医療事故防止に関する対策の実施・ インシデント報告書等の管理及び分析・ 医療安全に関する職員研修の企画・実施・ リスクマネジメントに関する委員会の調整・連携機能	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容： 医療に係る安全管理のための指針として、医療安全管理マニュアルを整備している。 基本方針として「患者さんのための医療の提供」、「チーム医療の推進」を目指し、職域の枠を超えた安全な医療、診療科・部署を超えた組織横断的な医療を提供する。 医療安全管理体制として、組織的知の共有として組織的学習メカニズムを図り、スタッフ参画・現場主導の安全管理体制とともに現場支援体制の確立を図る。患者参加型の医療安全を推進する。 基本方針、医療安全管理体制以外として、共通マニュアル、医療機器説明、診療科・部署マニュアル、関連マニュアルで構成し、共通マニュアルは現場状況変化に合わせて随時改訂、診療科・部署マニュアルは2年毎に改訂を検討し整備している。 指針の周知を図るためにポケットマニュアルの改訂を検討し、平成20年度に全職員に配布予定とした。	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	19年度12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療事故防止対策の検討及び推進に関するこ・ 医療事故等の対応及び原因究明に関するこ・ 医療事故等の情報収集及び分析に関するこ・ 医療事故防止に関する職員の教育・研修に関するこ	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	19年度456回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容： 医療に係る安全管理のための職員研修は医療安全管理部主催研修と診療科・部署主催研修として実施している。 【医療安全管理部主催研修】 講演会「新病院長として北海道大学病院における医療安全管理について望むこと」 医療安全の日の講演会「かけがえない命」と医療安全の標語・ポスター募集 講習会「医薬品に関する業務基準等の説明会」 講習会「採血・穿刺による神経損傷の予防」3回 講習会「新任リスクマネジャー集合講習会2回、個別講習会10回 講習会「一次救命処置講習会」9回	

講習会「人工呼吸器安全管理講習会基礎課程」2回、「認定課程」1回
講習会「インスリン療法安全講習会」3回
講習会「体外循環の基礎講座(CE)・公開講座」12回・試験2回
研修「インシデント事例分析研修」
研修「診療科・部署による救急シミュレーション」42回
研修「I C U・救急部NCでのACLS講習会」13回

【卒後研修センター・医療安全管理部共催研修】

「研修医のリスクマネジメント研修Ⅰ」、「研修医のリスクマネジメント研修Ⅱ」、
「研修医のリスクマネジメント研修Ⅲ」
「異動後の医師研修」2回

【診療科・部署主催研修】

救急シミュレーションなど、診療科・部署において医療安全管理のための研修の実施を推進し、診療科・部署での医療安全管理の研修として総計440件、受講数7569名の実施されている。

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
インシデント報告後の現場調査と改善に向けた協議を随時実施し、必要時関係者合同会議などの開催し、改善策を明確化にする。
重大事故の可能性がある事案に関してはRCA分析チームを編成し原因分析・再発防止策を作成し、再発防止策の定期的評価を実施。
重大な事案の発生時はゼネラルリスクマネジャーによる現場調査を実施し、原因分析の上事実調査報告書や事例報告書を作成し改善策を明確にする。
月別インシデント集計・分析の実施と優先的課題について検討。
年間インシデント集計・分析の実施と今後の課題策定。
分娩安全管理体制専門委員会からの再発防止策を実施。
造影CT・MR検査依頼時の説明・承諾書の取得を徹底化の取り組み。
人工呼吸器パトロールの実施と職場単位の指導者(人工呼吸器認定者)の養成。
診療記録の診療科間相互チェックの実施。
インフォームド・コンセントの体制充実とともに説明・承諾書の改訂・新規作成。
ゼネラルリスクマネジャーによるセーフティーパトロールの実施による現場調査と支援病院長によるセーフティーパトロールの実施により現場実態の把握。
患者相談窓口との定期会議の開催。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容 <p>院内感染を未然に防止するとともに、ひとたび感染症が発生した際には拡大防止のために、その原因を速やかに特定して、これを制圧、終息させることが重要である。また、院内感染防止対策を全職員が把握し、病院の理念に則った医療を提供することを目指す。</p>	
②院内感染対策のための委員会開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容 院内感染防止対策の検討及び推進 院内感染防止の対応及び原因究明 院内感染等の情報収集及び分析 院内感染防止等に関する職員の教育・研修 	
③従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	19 年度 42 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容（対象者には職員の他、外部委託者・ボランティアを含む） 院内感染対策講演会「結核の感染予防ーその時あわてないためにー」 新規感染対策マネージャー講習会「感染防止の基礎」「手洗い実習」 研修医院内感染対策研修「MRSA 感染予防策に関する最近の考え方」 専門領域研修会感染管理「感染制御の基本」「手洗い実習」 事務系職員感染対策講習会「事務における感染対策」「手洗い実習」 看護部静脈注射エキスパート研修「静脈注射と感染管理」 ポーター・看護助手感染対策講習会「あなたを守る手袋・手洗い・マスク・うがい」 	
④感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無) その他の改善の方策の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 感染対策マニュアルを作成・改訂した。 感染制御部を病院長直結の部署とし、院内感染対策体制を整備拡充した。 感染対策委員会の構成員を関連部署の責任者と実際に業務にあたる職員に厳選し、より迅速に、かつ、実効性のある委員会に改編した。 耐性菌サーベイランス等、感染症法に基づく院内感染症発生状況の迅速な把握と対応を行っている。 同内容で院内感染対策講演会を 2 回実施し、受講機会の充実を図った。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	19年度29回

- 研修の主な内容 :

【医療安全管理部主催研修】

医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況を参照

【腫瘍センター・化学療法部主催研修】

「癌薬物療法総論」「乳癌の薬物療法」「小細胞肺癌の薬物療法」「肺癌の薬物療法(総論および非小細胞肺癌)」「頭頸部癌の薬物療法」「血管確保とルート・ポート管理」「胆道癌および膵臓癌の薬物療法」「悪性リンパ腫」「小児がんの薬物療法」「泌尿器科癌に対する薬物療法」「抗悪性腫瘍薬について」「化学療法と看護ケア」「外来治療センターの利用方法/安全管理」「大腸癌の薬物療法」「抗がん剤の血管外漏出」「インフォームドコンセント・癌告知」「胃癌の化学療法」「癌疼痛ケア」「多発性骨髄腫の化学療法」「白血病の治療」「皮膚癌・悪性黒色腫の薬物療法」「婦人科がんの標準治療と化学療法」「脳神経外科における化学療法」

【薬剤部内主催】

医薬品に係るリスクマネジメント（新任者講習）

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- 手順書の作成 (有)

- 業務の主な内容 :

医薬品の安全使用のための手順書として、医薬品安全管理専門委員会と各ワーキングにて下記の手順書を再整備及び作成した。

特に安全管理が必要な薬剤リスト(専門委員会で新規作成)

配合注意・投与ルートで注意を要する注射薬(専門委員会で新規作成)

誤認に注意薬剤(専門委員会で新規作成)

指示・伝達ルール(ワーキングで改訂)

口頭指示は原則禁止(ワーキングで内容見直し)

内服薬管理基準(専門委員会で改訂)

薬剤管理指導業務手順書(専門委員会で作成)

入院患者の持参薬確認業務手順書(専門委員会で作成)

注射業務管理基準(ワーキングで改訂)

注射薬混合調製(ミキシング)手順書(専門委員会で作成)

危険性の高い薬剤の取扱い手順書(ワーキングで改訂)

抗がん剤の投与に関する手順書(ワーキングで改訂)

抗菌剤皮内反応に関する対策(ワーキングで内容見直し)

インスリン療法マニュアル(ワーキングで改訂)

抗凝固・抗血小板療法施行時における出血性合併症および抜歯・手術時の対応(ワーキン

グで見直し)

抗癌剤被爆防止に関するマニュアル(ワーキングで改訂)

薬剤部における医薬品情報管理手順(専門委員会で作成)

病棟における注射剤管理業務手順書(専門委員会で作成)

先進急性期医療センターにおける注射薬混合調製(ミキシング)手順書(専門委員会で作成)

医薬品の安全使用のための業務の実施状況として

平成19年5月にて医薬品使用に関する業務調査を実施し、実態を把握。その上、専門委員会やワーキングなどで医薬品業務に関する改訂を実施した。

平成20年3月に医薬品業務に関する説明会を開催し、改訂した手順書の周知を図り、平成20年7月に医薬品に関する業務調査を実施して業務の実施状況を把握した。

今後は、その結果をもとに診療科・部門の医療安全マニュアル改訂内容を確認し、業務基準との整合性を確認する予定である。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)

・ その他の改善のための方策の主な内容 :

医薬品の情報管理体制として、医療安全性情報管理体制を整備し、薬剤部における医薬品情報管理手順を作成。それに基づき、日本医療評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」としてメールに診療科・部門に提供。関係機関からの医薬品に関する情報、新聞報道からの事故情報などは緊急情報提供と点検のお願いにて情報提供とともに現場での業務点検を依頼している。

薬剤部における医薬品情報管理手順に基づき、医薬品に関する情報を提供。

処方・与薬のインシデント分析の結果、危険性の高い医薬品に関するリスト作成し、「注意を要する医薬品の検索プログラム」を構築中。

医薬品に関するインシデントの分析結果を基にeラーニングシステムを構築中。

医薬品に関するインシデント集計・分析結果により、専門委員会やワーキング等で医薬品に関するインシデント防止対策や講習会を検討。

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： 院内研修 【医療安全管理部主催研修】 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況を参照 	
<ul style="list-style-type: none"> 【ME機器管理センター内研修】 医療機器管理に関する臨床工学技士研修会12回 	
<ul style="list-style-type: none"> 【放射線部内研修】 放射線部放射線治療部門にて毎週の診療カンファレンスで、放射線機器等にかんする報告を行い、情報を共有。 週毎の線量測定に於いて、従事者の線量測定に関する研修を実施。 	
<ul style="list-style-type: none"> 院外研修 【放射線部として】 第26回放射線治療セミナー、平成19年度教育セミナー、放射線治療セミナー基礎コース 	
<ul style="list-style-type: none"> 【ME機器管理センターとして】 日本人工臓器学会教育セミナーの受講、日本体外循環技術医学会教育セミナーの受講 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 計画の策定 (有) 保守点検の主な内容： 医療機器として診療情報として使用する医療機器と時間内蔵機器のリストを作成し、医療機器を集計し保守点検計画を策定。 【中央管理機器】 ME機器管理センターとして、日常点検・稼動後の点検、3ヶ月等の定期点検、年点検の実施不具合発生時の現場調査と故障点検の実施。 故障時のメンテナンスとメーカーとの調整。 	
<ul style="list-style-type: none"> 【放射線部管理機器】 放射線診療従事者（放射線取扱者）による点検①始業点検：診療前に決められた項目について仕業点検を実施。②出力線量の測定：2回／月以上の頻度でモニター線量計の校正を実施。③3ヶ月、及び、6ヶ月毎に、点検項目に則り、放射線及び幾何学的点検を実施。④漏洩線量等の測定：年回3回（6ヶ月を超えない頻度）使用室、管理区域、事業所境界等の放射線測定を実施。 	
<ul style="list-style-type: none"> 【診療科・部門管理機器】 診療科管理に関する機器について、管理課により機器調査の上、リスト作成。 20年度に機器の点検計画の策定・実施を予定。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) その他の改善の方策の主な内容： 医療機器の情報管理体制として、医療安全性情報管理体制を整備。 それに基づき、日本医療評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」としてメールに診療科・部門に提供。 関係機関やメーカーからの医療機器に関する情報、新聞報道からの事故情報などは緊急情報提供と点検のお願いにて情報提供とともに現場での業務点検を依頼。 また、ME機器管理センターからメールにて医療機器情報を現場へ提供。 医療機器を管理するための履歴管理書式を作成し、北海道大学病院の医療機器管理体制を明文化し周知。 	

人工呼吸器稼働状況・医療機器に関する実態調査により、人工呼吸器更新に関する要望書、輸液ポンプ・シリンジポンプ更新に関する要望書により病院長へ提案し、管理課と調整。医療機器の不具合情報・インシデントについて集計・分析し、医療機器安全管理専門委員会の方策の検討。医療機器に関するインシデントの分析結果を基にeラーニングシステムを構築中。